記録書 No.22

(2015年3月27日 \sim 2015年4月15日)

2015年4月16日 乃村研究室 B4 藤田 将輝

(4/3)

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項	
(1) 特になし	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	
1. 実績	
1.1 研究関連	
(1) 研究テーマに関する項目	
(A) 参考文献の読解	$(50\ \mbox{\%}\ \mbox{,}\ +0\ \mbox{\%})$
(B) 使用する共有メモリ領域の検討	$(75\ \%\ $, $+0\ \%)$
(C) NICのデバイスドライバの改変箇所の調査	$(50\ \%$, $+0\ \%)$
(D) パケット受信処理の実装	$(20\ \%\ $, $+20\ \%)$
(2) 開発に関する項目	
(A) 自動ビルドスクリプトの作成	$(95\ \%\ $, $+0\ \%)$
(B) debian での Mint の構築	(95% , $+45%)$
(3) 第 271 回 New 打ち合わせ	(3/30)
(4) 第 272 回 New 打ち合わせ	(4/6)
(5) 第 18 回 New 開発打ち合わせ	(4/13)
1.2 研究室関連	
(1) 全体ミーティング	(3/17)
(2) 平成 27 年度 SWLAB 新 B4 ガイダンス	(4/1)
(3) 平成 27 年度新 B4 歓迎会	(4/1)
(4) 平成 27 年度新 B4 向け Git 勉強会	(4/2)
(5) 乃村研お花見	(4/2)

(6) 乃村研ミーティング

1.3 大学院関連	
(1) 新 $\mathrm{M}1$ 向けオリエンテーション	(4/1)
(2) 平成 27 年度岡山大学入学式,大学院入学式	(4/8)
(3) プロセッサ工学特論	(4/9)
(4) システムプログラム特論	(4/14)
(5) ソフトウェア開発法	(4/14)
2. 詳細および反省・感想	
2.2 研究室関連	
(4) 平成 27 年度新 $B4$ 向け Git 勉強会を行った. Git を使ったこと ように教えると,わかりやすく伝わるかを新 $M1$ で話し合った 説明の順序を少し変えるだけで相手の理解度が大きく変わる。	た.言い回しと,
3. 今後の予定	
3.1 研究関連	
(1) 研究テーマに関する項目	
(A) 参考文献の読解	(5月上旬)
(B) 使用する共有メモリ領域の検討	(4月下旬)
(C) NICのデバイスドライバの改変箇所の調査	(4月下旬)
(D) パケット受信処理の実装	(4月下旬)
(2) 開発に関する項目	
(A) 自動ビルドスクリプトの作成	(4月下旬)

3.2 研究室関連

(3) 第 273 回 New 打ち合わせ

(4) 第 18 回 New 開発打ち合わせ

(1) 乃村研ミーティング (4/20)

(4/20)

(4/27)

3.3 大学院関連

(1) システムプログラム特論 (4/21)

(2) ソフトウェア開発法 (4/21)

(3) プログラミング方法論 (4/22)